

第6章 Scope3や CFPと中小企業の排出削減の関係

「Scope 3」や「CFP」は大企業だけに求められる要件ではなく、今後はそのサプライチェーンである中小企業にも少なからず要請が生じると考えられます。

(1) Scope3 とは

Scope 3は、サプライチェーン排出量のうち自社のScope1（燃料など）とScope2（電気・熱・蒸気）以外の排出量（間接排出）です。分類されている15カテゴリ（①～⑮）ごとに算出します。



Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

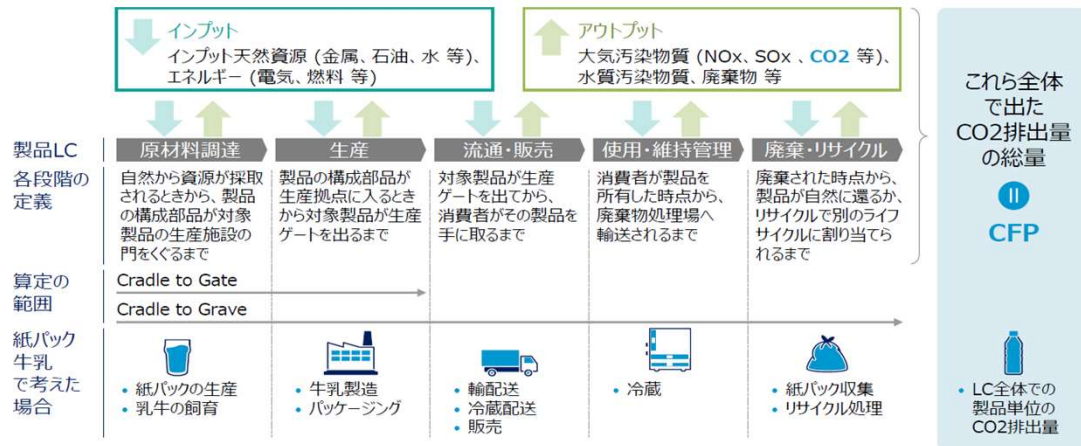
Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3 : Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

出典：環境省 SBT(Science Based Targets)について

(2) CFP(Carbon Footprint of Products)とは

CFPは、各製品のライフサイクルにおいて各段階のGHG 排出量をCO2 排出量に換算して総計したものです。



出典：経済産業省「第1回 サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリントの算定・検証等に関する検討会」資料より抜粋

Scope3はサプライチェーンにおける事業活動のGHG排出量を年単位で算定するのに対して、CFPは製品単位のライフサイクルで発生するGHG排出量(CO2排出量に換算)の総量を算定します。

いずれにしても、中小企業のScope1・Scope 2は取引先のScope 3（カテゴリ①原材料）およびCFPの原材料調達として算入されるため、サプライチェーンでGHG排出量・CFPを削減するためには中小企業のCO2排出量削減が必要不可欠です。